

収録・解説 酒井董美

語り手 大原寿美子さん  
(明治40年生まれ)

昭和60年8月15日収録

あらすじ

昔、正直なおじいさんとおばあさんがいた。

おばあさんが庭に出たら、雀がたぐさん庭に降りていて、おばあさんが来たので飛んで逃げたけれど、1羽の雀が脚を痛めてよく歩けないものだから、その雀を籠に入れて、米やら虫やら草やら餌をやっていた。日にちがたつてよく治ったので放してやった。

1月も2月もしてから、また庭へ来てチュンチュン言うから、おばあさんが出てみた。ポトンと何か落としたので行っ

## 腰折れ雀

(八頭郡智頭町波多)



イラスト・福本隆男

## 類話県内他になく貴重な話

が、お米がいっぱいつま  
っている。また次のも出  
てきたら、雀の脚に当たっ  
てみた。お米がいっぱ  
い入っている。

そしたら、隣のおばあ  
さんがうらやましく思っ  
た。やったり草をやったり、  
虫を捕ってやったりし  
て、その怪我を治してや  
って放してやったら、雀  
はチュンチュン言って逃  
がいないので、庭へ遊び  
に来ている雀に石をぶつ  
けた。さうな。

何日かたつてから、そ  
の雀がまた庭へ来て瓢箪  
の足を落としたので、そ  
れを植えておいたら瓢箪  
が出た。

類話が県内のどこかに  
伝えられていないかと稲  
田浩二編『日本昔話通観』  
鳥取編で調べてみたが、  
残念ながら他の地区では  
まだ一話も見つかってい  
なかった。

そういうことであれ  
ば、鳥取県立博物館のホ  
ームページ「民話」のこ  
ころに登載されているこ  
の話は、今では鳥取県内  
で唯一の存在が確認でき  
たもの—ということがで  
る。貴重な話だ。「あら  
すじ」ではかなり割愛し  
ているので、ぜひホーム  
ページで確認してほし  
い。大原さんの語りは実  
にキメが細かい。この見  
事な語りをお聴きいた  
きたい。

(鳥取短期大学教授)  
(水曜日に掲載)

解説

### 解説

関敬吾『日本昔話大成』  
の話型では、本格昔話の  
中で「隣の爺」に「腰折  
れ雀」として次のように登  
録されている。

① 婆が傷ついた雀を助  
ける。

② 瓢(またはその種)  
を三つ(一)くくれる。

瓢(種をまいて生える)  
から米・金銀・甘い水が